

## ネクストコム株式会社様

### MailWatcherの導入により、 電子メールの情報漏えい対策と生産性の向上を実現。

電子メールの保存を行うことにより新たな法整備に対応

#### ご担当者様



ネクストコム株式会社  
情報システム部 ITインフラ課  
課長  
菊池 直樹氏

#### 弊社担当営業



株式会社ハンモック  
ネットワークソリューション事業部 営業部  
営業二課  
田村 亮介

#### 「IPソリューションプロバイダ」として 社会に貢献

ネットワークのブロードバンド化、ユビキタス化が加速的に進む現在、IPネットワークは、ますますその可能性を拓けている。「IPソリューションプロバイダ」として多様化するお客様ニーズを的確かつ迅速に応え、最先端ソリューションを提供しているのがネクストコム株式会社である。

ネクストコムは、2004年12月、ボイス系システムに強みのあるアダムネット株式会社、システムインテグレーション領域において実績のもつ株式会社ビーエスアイと合併、新生ネクストコム株式会社として、ボイスソリューション/データネットワークソリューション/システムソリューションの3分野を主力とした多面的ワンストップサービスを提供している。

日本のIPネットワークを支えるネクストコムで、ハンモックの電子メール監視、分析ツール「MailWatcher」がどのように活用されているのか、情報システム部 ITインフラ課 菊池氏にお話を伺った。

#### 電子メールの 情報漏えい対策として導入

「そもそも『MailWatcher』の導入を検討し始めた

のは、2003年夏頃になります。当時、情報漏えいが問題になり始めたときで、当社でもメールからの情報漏えい対策の検討を開始していました。また時を同じくして経営層からメール対策への指示があり、対策を一気に講じることになりました。当時のメール管理を振り返ってみるとログを確認することに留まっており、特にログの集計、分析はおこなっておりませんでした。」

「そこで送受信メールを保存、分析できるツールを検討し始め、最終的には『MailWatcher』を含む3製品を比較検討しました。電子メール監視、分析ツールの導入条件として、当社が掲げていたのは以下の三点になります。」

- ▼環境の変更なしに導入できること。
- ▼添付ファイルを含めてメールの全文検索ができること。
- ▼複数のメールサーバを1台のマシンで管理・運用できること。\*

「これら条件の下、製品を検討した結果、他社製品はメールサーバを別途必要としたり、メールサーバやネットワーク等の環境設定を変更する必要があるため、導入条件を満たしませんでした。

\*導入環境によって異なる場合がございます。

#### 導入先企業データ



#### ネクストコム株式会社

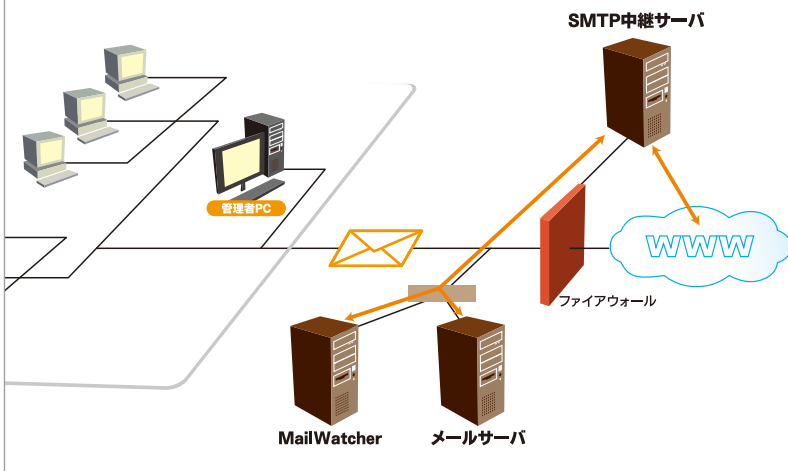
本社所在地：〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-26 一ツ橋SIビル  
設立：1991年 6月 20日  
資本金：41億1,373万円（2006年3月末現在）  
従業員数：連結841名（2006年3月末現在 役員、派遣社員は除く）  
URL：<http://www.nextcom.co.jp/>

#### 多様化するお客様ニーズにお応えするために。

データ・ボイス・SIの、マルチ融合へ。  
ネクストコム株式会社は、データ系ネットワークの実績を誇るネクストコムと、ボイス系ネットワークに強みを持つアダムネット、さらにシステム開発分野を手掛けるビーエスアイの3社が統合することにより、真の「IP Solution Provider」として、お客様のニーズにトータルにお応えします。私たちは、常に最先端のテクノロジーを追求し、お客様とともに成長する企業であり続けます。



ネクストコム株式会社 MailWatcher導入クライアントPC台数 1,500台 構成：MailWatcher+MailWatcherアーカイブ



■一覧・検索画面



電子メールの利用状況を一括で管理できるほか、件名や本文、アドレスからの検索・分析が可能です。また添付ファイルはローカルに保存することもできます。

唯一、ハンモックの『MailWatcher』だけが当社の掲げる条件をすべて満たし、導入の決定に至った訳です。またクライアントPCへモジュールインストールが不要だったのも大きな魅力でした。」  
このように「MailWatcher」は、お客様の情報インフラに負担をかけることなく容易に導入できることが大きなメリットのひとつとしてあげられる。

### 期待以上の導入効果

「MailWatcher」の導入は2003年末ごろからはじまり、導入当初は500人の社員に対し500アカウントでの導入であった。以降2004年末にはネクストコム社の合併があり社員数が大幅に増加、それに合わせて2005年には1000アカウントの追加導入を行い、現在3倍の1500アカウントに至っている。

「MailWatcher」の導入効果としては、「情報漏えいの抑止」、「私的メール抑止による業務生産性の向上」、「ネットワークトラフィック軽減の促進」を実現する。ネクストコム社ではどのような効果をあげたのだろうか。

「『MailWatcher』導入以前は、メールサーバのログをチェックするのみでしたので業務に必要なメールか私的メールかはっきりと確認する方法がありませんでした。ログのためメール内容詳細まで確認できなかったのです。」

「しかし『MailWatcher』導入後は、キーワード検索が簡単に行えるためメール内容や添付ファイル

の内容も容易に確認でき、それまでの管理負担を大幅に削減できました。さらにアイコンとわかりやすいウィンドウ表示で専門的な知識が不要なく、簡単に運用・管理できるのも大きなメリットです。」

また「MailWatcher」導入時の状況をお伺いすると、「『MailWatcher』導入時、社内に対してアナウンスを行いましたでしたが社内での反響は特にありませんでした。けれども私的メールの抑制効果や情報漏えいに対する効果はあったと考えております。」

「加えてうれしい誤算として導入効果を販売店に話したところ、『是非、当社でも導入したい』と大きな反響と引き合いを頂きました。『MailWatcher』の導入効果は、お客様からも関心を頂き積極的にアピールしています。」

「今後、施行が予定されている日本版SOX法では、メール保存の義務づけが導入されるとのことです。当社では、この点において先駆けて対策を講じることができました。」と菊池氏は胸を張る。

### 製品への要望

最後に今後の要望等をお伺いした。「『MailWatcher』は、現在の機能で十分に満足しています。ただ欲を言わせて頂ければ、リモート管理とメンテナンスをより簡便に行えるようになることを希望します。」とのコメントを頂いた。今回の

ご要望は、今後のバージョンアップ時に機能強化版としてお応えする予定である。

情報漏えい問題や新たな法整備等、電子メールへの社会的な関心が高まっている中で「MailWatcher」は、今後も業務支援ツールとして大きな効果を発揮していく。